



二十四節気：3月21日(月)春分(しゅんぶん)

春分は、昼と夜の時間が等しくなります。古来の考えでは、太陽が昇る東はこの世であり、沈む西はあの世であるとされました。そのため、昼と夜の時間が等しい春分は一年のうちで最もあの世が近づき、彼岸(川の対岸を表し、この世に対してあの世を意味する)として先祖を供養する文化があります。

校訓と校是そして校章に託す念(おも)い

— 若商の道(代校長先生の教え) —

昭和35年(1960年)本校開校に当たり初代校長安田三吾先生は本校の教育方針について、校訓と校是(こうぜ)を示されました。そして、校章やスクールカラーに託す念(おも)いを込めました。

校訓(学校の教育目標)

- 自立…他力を借りず、自己決定に基づいて物事に取り組み力を育みなさい。
- 創造…自分で考え、自分で生み出す、そして物事を自分で判断できる力を育みなさい。
- 協力…豊かな知を身に付け、他者と協力して物事に取り組み、社会を動かす力を育みなさい。

生徒がこれらを常に行動の柱とできるよう、登下校時に目にすることが出来る玄関前に校訓碑があります。

これは、本校を見守る花房山の中腹から碎石され、平成2年(1990年)創立30周年を記念して本校同窓会(彩雲会)が建立(こんりゅう)しました

校是(校訓の教えを生徒へつたえるための教育方針)

「強いところ」と「あたたかい心」

「生徒たちは社会の荒波を乗り越えることができる『強いところ』を培うこと。そのところを育むため、先生方は厳しくも『あたたかい心』をもって導きなさい。」と教えられました。生徒にも職員にも深い教育的愛情が注がれ、現在でも本校の精神的支柱として拠って立つ「\*もとつ教え」となっています。\*本来・本当の

校章とスクールカラー

若松の名称は「若松恵比寿神社縁起(えびすじんじやえんぎ)」から、御社(おんしゃ)の海辺に植えられた若々しい松に由来しているとのこと。本校の校章は、その「小松」とギリシャ神話の商神ヘルメスを表す「杖・翼・蛇」を図案化しました。また、スクールカラーである「真紅(しんく)」は、混じりのない正真(しょうしん)の紅色であり赤心(せきしん：うそや偽りのない心)を表すものです。地元若松の商業高校であることを明確に示し、商業人として最も大切な信用(うそや偽りのない心)を表した素晴らしい校章とスクールカラーです。

進級を迎えるに当たり、生徒の皆さんの心に育ててほしい本校の教えを肝に銘じ、若商でしか培えない「人間力」を高めることを期待します。



ようこそ若商へ

— 令和4年度高等学校入学者選抜合格発表 —

3月16日(水)令和4年度福岡県立高等学校入学者選抜合格発表がありました。それを受けて令和4年度入学予定者説明会のため、中学生の皆さんとその保護者等の方が本校へ来校されました。本年度は特色化選抜を導入した北九州地区の単独学科では最多である90名の志願者を集めました。また、推薦入試の志願倍率も1.75倍であり、近年(過去10年間)では最も高い倍率でした。これは、卒業した先輩はもちろん、在校生の皆さんの頑張りや先生方の指導内容が、中学生やその保護者等及び地域の方々から高い評価をいただいたことに他なりません。

説明会は例年、新入生と保護者等の皆さんが体育館に一堂に会して行っていましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため8教室に分かれ、リモートにより実施しました。

在校生の皆さんは、若商に対する高い期待に応え、自らの目標に近づくための「志」を固め「強いところ」を培いましょう。先生方は厳しくも面倒見の良い「あたたかい心」で支えていきます。

